

いま手にしている目標や夢を、絶対に手放さないこと

高崎文子 熊本大学教育学部准教授

社会科学系(心理学)

企業を辞め、大学院へ。 これが大きな転機に

大学卒業後は、研究内容とはまったく畑違いの企業の営業職に就きました。そこで4年間働いたあと、大学院に戻りました。大学院の博士課程を終了後、母校で助手となり、その後長野県の女子大学に就職。熊本大学にご縁があり、2010年に地元の熊本に戻ってくることができました。

私の人生のターニングポイントはやはり、企業を辞めて大学院に戻ったこと。会社の同期がたまたま大学院に戻ったことや、学部の恩師に相談した際にあっさり「戻ってくるんだろう、いいぞ」と受け入れてくださったことなど、いくつかの出来事が偶然重なった結果、自然と研究者の道が開かれたように思います。

私の研究内容は「子どものやる気」。やる気がどのように育つのか、本人の経験や周りの人の働きかけの影響に興味があります。現在は特に「ほめ」をテーマに研究を行っています。人によって同じようにほめても受け取り方が異なります。その個人差はどのように形成されるのか、また受け取り方の

違いによるやる気への影響などを調べています。特に幼少期の接し方は重要。子どもの良さはひとつのものさしだけで計ってはダメで、さまざまな面で優れたところを発見してほめることが重要だと考えています。

夢や目標の実現は、 最短距離でなくてもいい

どんな仕事でも常に順風満帆で充実した時期ばかり……ということはありませんよね。煮詰まったり自信をなくしたりした時に、例えば結婚や出産が重なると、仕事を辞める選択をする女性も少なくありません。しかしそこでなんとか頑張ってみると、自ずと道は拓けてくるものだと思います。

みなさんが今、手にしている将来の目標や夢を、絶対に手放さないでほしいのです。最短距離でそこにたどり着く必要もありません。「ずっと握り続けること」、これが大事。そうするといつの間にか目標や夢に少しずつ近づいていくことができるはずです。

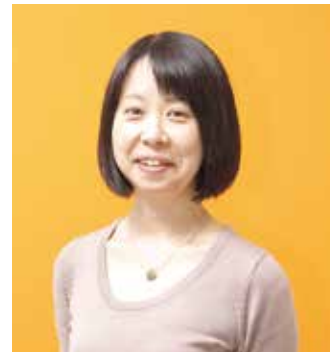
夢をあきらめないで!



ゼミ生と研究室にて



幼稚園で子どもの活動を観察中。子どもが「見てみて〜」と言っているところ。ここで「ほめる」というコミュニケーションが生まれる場面



Fumiko TAKASAKI

人間科学部
企業(営業)
修士課程
博士課程
大学教員

自分の
目標や夢を
手放さないで!
進むこと

One day

7:30 起床
10:30 大学へ
講義・研究指導・論文・
会議など
18:00 帰宅
夕食・入浴
24:30 就寝

◎宝もの **ねこ**
◎リフレッシュ方法・落ち着く場所
読書・歌舞伎を観に行くこと
自宅が落ち着きます

profile

たかさきふみこ / 1992年に早稲田大学を卒業後、研究内容とは全く関係のない企業の営業職に就く。4年間働いた後、早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程終了後、母校で助手をし、その後長野県の女子大学に就職。熊本大学にご縁ができ、2010年に地元熊本に戻り、現在に至る。



Q.今後仕事を続けていく上での悩みや不安とは？

- 現状のワークバランスで将来子どもへの精神的なサポートができるか不安
- 体力、健康
- 自分の能力
- 保育園から小学校へ進むときの空白の保育期間や低学年時の学童保育などの時間制限(小学一年の壁)